

## 定例市長記者会見録

日 時：10月20日(火) 午前11時～11時30分

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、読売新聞、朝日新聞、中部経済新聞

(市長)

本日の案件は3つです。

1番目は、「介護施設の新規入所者を対象にPCR検査を実施」です。新型コロナウイルス感染症拡大は落ち着きを見せてきましたが、冬期への備えの一環として、今回、PCR検査を実施します。一宮市立市民病院で9月から新たにPCR検査機器が稼働しています。その能力を、より前向きに使用できないか調整しました。8月13日に市内1カ所でクラスターが発生し、市民の方にも不安が広がりました。お年寄りが罹患すると重症化しやすいので、早期対策のため検査を行います。対象者については、大規模な介護保険施設に新たに入所を予定する方とします。市内の全特別養護老人ホーム23施設のうち、比較的規模の大きい定員30人以上の16施設を対象としました。介護老人保健施設については、市内全8施設を対象としました。合計24施設への入所者数を毎月2人と想定し、来年3月までの5カ月間で240人を対象に、自己負担額1,000円で実施します。PCR検査の費用は14,850円ですので、自己負担額1,000円との差額は、市が負担します。検査の実施方法としては、まず入所予定施設から介護保険課に申請していただきます。次に、介護保険課と市民病院で日程調整の上、入所者の方が市民病院に来院し、ドライブスルー方式で検体を採取し検査します。その後、検査結果は介護保険課を通じて入所予定施設に知らせます。国、県がPCR検査体制の拡充を目指している中、一宮市でも検査機器をどう有効活用するかを検証し、関係者が知恵を絞って仕組みを考えました。高齢者の方が安心して介護保険施設を利用することができ、そこで働く方々も安心して働けるようよう期待しています。

2番目は、『「5G」×「消防・救急」実証実験デモを開催』です。先日、アップル社が5G対応のiPhone12を発表し、5Gが世の中に広がっていく気配を見せています。この5Gの行政への導入を目指し、まずは消防・救急分野の実証実験を行います。KDDI まとめてオフィス中部株式会社と協議し、デモンストレーションの開催が決定しましたのでお知らせします。11月19日(木曜日)午前10時から、消防訓練は一宮市総合体育館正面駐車場にて、救急訓練は138タワーパーク第3駐車場にて実施します。各所から5Gで伝送される映像等を、総合体育館いちい信用金庫アリーナAの2階観覧席から、モニターを通じてご覧いただけます。実証実験の内容として、消防訓練については、消防隊員の消火活動や要救助者への対応など、リアルタイムで伝達される映像について検証します。合わせて、NTPグループから無償提供されましたドローンによる上空からの映像も検証します。救急訓練につ

いては、バイクと乗用車の事故による救急搬送を想定し、負傷者の状態や心電図を5Gで伝送します。5Gによる4K画像とDVDによる一般的な画像との比較を交えながら、救急現場における利活用の可能性を検証します。デジタル化については、さまざまな分野で必要性が叫ばれていますので、その端緒として消防・救急の分野において一宮市から発信できればと期待しています。全体の予算約1,000万円のうち、半分の500万円ほどにつき、愛知県「令和2年度元気な愛知の市町村づくり補助金（チャレンジ枠）」を活用します。

3番目は、「名古屋大学・一宮市 ICT 活用ワーキンググループで協働研究を開始～道路冠水情報等の見える化～」です。過去の豪雨時の反省点を踏まえての取り組みですが、災害時は、道路冠水をはじめ様々な情報が市に寄せられます。それを市民の方がリアルタイムで確認ができるよう、グーグルマップなどに表示して発信できないかという試みです。情報の確実性から、各町内会や警察、中部電力などとの連携も模索しています。まずは、市が持っている道路冠水情報を発出していきますが、その情報の出し方やアップデートの方法等について、名古屋大学大学院情報学研究科とのワーキンググループでご教示いただくものです。来年の梅雨の時期までには公開したいと考えています。

以上、本日の説明でございます。

## 質疑応答の概要

### ■介護施設の新規入所者を対象にPCR検査を実施

(記者) PCR検査の対象者の自己負担額は、1,000円となっておりますが、PCR検査は1回にいくらかかるのですか？

(市長) 消費税を含めて14,850円です。

(記者) 市の負担は、13,850円ですね。今回、大規模施設の定義は、定員30人以上の施設ということですか。

(市長) 特別養護老人ホームについて、定員30名以上の施設を大規模施設としています。

(記者) 今回の事業は、8月13日の介護保険施設でのクラスターを受けてということですか？

(市長) そうですね。一宮市立市民病院で充実したPCR検査機能をどのように使うかを、市役所内で検討し、弱者の方たちを対象にと考えました。小中学生で新型コロナウイルスの検査で陽性者がいましたが、拡大しませんでした。これは、学校の先生方や保育士さんの努力もあり、新しい生活様式をきちんと取り入れていただいている結果だと思えます。しかし、お年寄りの場合は難しい面もあるため、8月の反省も踏まえて今回の対象者としました。

(記者) 一宮市立市民病院のPCR検査数は、どれくらい能力があるのですか？

(市長) 1日に20件程度で、現在1日に5件程度を検査しています。

■「5G」×「消防・救急」実証実験デモを開催

(記者) 今回、実証実験をして将来的には5Gを利用した商品を導入されたいのですか？

(市長) 導入するべきだと思います。

(記者) 導入すると、機材一式を購入しないといけませんが、今回は実証実験なのでレンタルで出来るのですね。

(市長) そうです。今回の実証実験を基に、KDDI やパナソニックに消防や救急の現場で役立つ商品を開発していただき、それを導入することで皆がWIN・WINの関係になればいいと思います。

■中核市への移行について

(記者) 来年から中核市に移行しますが、保健所関係の経費が増えそうですが、どのようにお考えですか？

(市長) 市民の皆さまに提供できる行政サービスのレベルを上げることで、還元できれば良いと思います。なお、中核市になった他市の状況を見ていると、保健所関係の事務経費は、地方交付税として市に交付されているのが確認できましたので、その点については問題ないと考えています。

(記者) 中核市へ移行して、短期的には現在の保健所の施設を使われるわけですが、その後に新しい施設を建設するならば経費が要ることを、どのようにお考えですか？

(市長) 今後、中期的に考えていきます。